

天文教育

2019 11

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



- <投稿>2019 年ノーベル物理学賞に関して ~ジェームス・ピーブルズ教授~/ティコのデータを前にして ~ケプラーの気分になって~/
高等学校 天文学研究体験講座の実施報告 ~天体の分光観測をテーマに~
<連載>社会教育施設について考える (WG 報告) [最終回]
<報告>天文教育フォーラム報告/北海道支部集会の開催報告

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文学教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文学教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文学教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文学教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・ **締め切り**は1は原則として奇数月末日、2～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・ **広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000、半ページ ¥12,000、1/4ページ ¥7,000、チラシの折り込み ¥20,000です。

※本誌に掲載された記事は、当会 Web サイト (<https://tenkyo.net/>) にて PDF ファイルの形で公開を予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合は、ご投稿の際にその旨ご連絡をお願いいたします。

なお、2014年9月号から、当会会員に対しては会誌発行後に速やかに、パスワード制限をかけた形で閲覧できるようにし、発行から1年経過後にパスワード制限を解除して、広く一般に公開いたします。

【編集委員会からのお願い】

『天文学教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・ 原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・ 執筆用のテンプレートがホームページ (<https://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・ 十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・ 提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・ Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・ 原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

くじら座とミラ

2019年11月1日20時31分 Canon EOS5D Mk IV
AF-S NIKKOR 24-70mm F2.8G ED 燕岳付近（北アルプス） 撮影者：大西浩次

秋の星座たちには、ギリシア神話の「エチオピア王家」の物語があります。王妃カシオペアは「娘のアンドロメダは、海の神の妖精たちよりも美しい」と自慢します。これを聞いた海の神ポセイドンが怒り、化けクジラを仕向けてエチオピアの海岸に津波を起こします。この化けクジラをおとなしくするために、アンドロメダ姫を生贄に差し出すのです。そうして、アンドロメダ姫が、まさに化けくじらに襲われるその瞬間、天馬ペガサスに乗ったペルセウスが、手に持っていたメドゥーサの首を化けクジラに向けます。化けクジラがたちまち石になって（略）。

この物語で登場する化けクジラが「くじら座」です。このくじら座の胸の星が有名な変光星ミラです。その変光の周期は332日と長く、明るさも2等星から10等星と大きく変わります。今回、ミラが最も明るくなるのは11月の下旬です。写真撮影時は3等級。まだしばらくミラを肉眼で観察できますよ。ところで、くじら座は水害を及ぼす化けクジラでした。そういえば、メドゥーサの目に当たる星がアルゴル。もしかすると、昔からミラやアルゴルの変光の様子に気づいてこの物語が作られたのかもしれない。

なお、先の台風19号で、私の住んでいる1km先で大きな水害が起きました。千年一度の想定規模でした。最近、全国各地で発生する気象災害、これから化けクジラが暴れないように地球温暖化に警鐘を鳴らす必要を強く感じています。（大西浩次）